

ろうさい ニュース

平成 27 年

7 月号

第 371 号

第 15 回浜松 EAST 医療連携セミナー開催について

平成 27 年 7 月 8 日（水）19 時 30 分より、当院 6 階大会議室にて下記のとおり開催します。今回は「糖尿病」をテーマに三重大学大学院 循環器内科 客員准教授 大西内科ハートクリニック院長 大西 勝也先生にご講演を、また、きくち内科クリニック院長 菊池 範行先生を座長にお迎えします。皆様の参加をお待ちしております。

記

【学術情報提供】「選択的 SGLT 2 阻害薬ルセフィ錠について」

【Session I】

《座長》きくち内科クリニック院長 菊池 範行 先生

《演題・演者》『心臓ペースメーカー残存リードに依る感染から
敗血症に至った一例』

浜松労災病院 大石 裕子 内分泌代謝内科 部長

【Session II】

《座長》きくち内科クリニック院長 菊池 範行 先生

《演題・演者》『生命予後って重要ですか？
— 糖尿病と心不全 —』

三重大学大学院 循環器内科 客員准教授
大西内科ハートクリニック院長 大西 勝也先生



※日本医師会生涯教育制度履修単位数 1.5 単位 カリキュラムコード (4・9・76) が付与されます。

共催：浜松労災病院・ノバルティスファーマ株式会社

後援：浜松市医師会（予定）

■ 診療科より

眼科は7月から金曜日（第1・3週）の午後も診察を行います。

腎臓内科は毎週水曜日も診察を行います。

（詳しくは7月外来担当医表をご覧ください）



心臓血管外科のご紹介

心臓血管外科部長 西澤 純一郎

日頃より、近隣の病院や医院などの先生方には、ご紹介、ご協力、ご支援を頂き、誠にありがとうございます。スタッフ一同、心より感謝しております。

当科では、現在、常勤医3名で、年間約70例の心臓・胸部大動脈手術、および、その約1/3程度のその他の血管手術を行っております。

当科で、以前、最も多かった手術は、狭心症や心筋梗塞などに対する冠動脈バイパス手術でした。しかし、カテーテルによる経皮的治療が進歩し、ほとんどの病態で可能となり、手術症例が減少しました。従いまして、更に高齢化・重症化が進みましたが、私が当院着任の2006年10月以来、8年9ヶ月ほどの間に、緊急手術を除く単独冠動脈バイパス手術症例は約270例ありましたが、手術死亡（術後30日以内死亡）例は、いまだなく、周術期脳梗塞発症例も1例のみ（0.4%）でした。

一方で、年々増えてきているのが弁膜症手術で、特に、高齢患者さんです。ご存知の通り、大動脈弁狭窄症にはカテーテル治療（TAVI）も、始まってはおりますが、現時点では、リスクや合併症の可能性は高く、開心術を行うのにリスクが高くない（85歳くらいまでの、他の合併症も重症ではない）患者さんですと、TAVIの適応にはならず、まだまだ、開心術の方が安全なことが多い状況です。当院でも、80歳代の症例も多いですが、1つの弁に対する手術では、ほぼ元気に回復される方がほとんどで、手術成績も若年者とほぼ遜色なくしております。しかし、一般的には、高齢のみを理由に手術を検討されないことも多く、中には、さほどの合併症がない75歳前後の方が、開業医の先生に、高齢なので手術は無理だと言われたという方もおられます。特に、重症大動脈弁狭窄症では、症状がなくても、放置すれば急死の可能性が高くなりますので、ほとんどが手術適応です。

また、大動脈解離や胸部大動脈に対する人工血管置換術も、年間に10例弱ではありますが行っており、緊急手術では最近8年間、緊急以外でも最近5年間は死亡例がありません。

当科では、一人一人の患者さんの病態・特徴・環境に合わせて、かつ、エビデンスに基づき、その患者さんにとってベストの治療を行うことを信念としております。そして、術前には、ご本人、ご家族（近しいご家族皆様が集まっていただけのように、時間などもお合わせするようしております）に、病状の詳細、手術の必要性、手術の内容、術後の経過、起こりうる合併症など、皆様にご納得いただけるまで、詳しくていねいな説明をさせていただき、十分にご理解とご承諾をもって、患者さん本位の治療を行うよう努めております。

これら心臓血管疾患で手術が必要であったり、お悩みの患者さんはもちろん、症状も不明だが心雑音などがあるなど、治療を検討すべき（かもしれない）患者さんがおられましたら、いつでもご相談・ご紹介ください。たとえ手術適応がなかったとしても、診察・検討のうえ、丁寧に、ご本人・ご家族に説明させていただきます。

また、緊急手術が必要と思われるとき、あるいは、いずれは手術が必要と思われる、それまでの管理や検査が必要であるときなど、当院循環器内科・心臓血管外科でお力になれることがありましたら、最大限ご希望にお応えしたいと思っておりますので、いつでもご相談ください。先生方のご要望があれば、当院から医師がお迎えに上がることも可能な限りさせていただきます。

今後も、更なる努力を重ねて、患者様に最良の治療を提供していく所存でございますので、浜松労災病院心臓血管外科をどうぞよろしくお願い申し上げます。



■ 心臓ドックのご案内

当院健康診断部では、一般的な人間ドックでは早期診断が難しい心臓の特別な検査を実施する心臓ドックを実施しております。心臓ドックでは、心臓の弁の動きや血液の流れに異常がないか、狭窄の有無や動脈硬化の状態などをより精密な検査を行い、心臓の現状を総合的に評価いたします。

○実施日：毎週木曜日・金曜日（祝日を除く）

結果説明は、翌週以降の木曜日、または金曜日に専門医が行います。

○料金：61,560円（税込）

○お問い合わせ先：健康診断部 053-462-1211（代表）

冠動脈CT画像



■ 地域医療連携室より

・土曜日の午前中（8：15～12：00）に紹介患者予約の受付を行っております。地域医療連携室スタッフは不在のため、事務当直室での対応となります。不慣れなところもございますがよろしく願いいたします。

・連携室では、紹介患者さんの待ち時間短縮を図るため、紹介元の医療機関様の事前予約をお願いしております。事前予約につきましては、当院所定の紹介状様式をご使用いただき、予約決定後、**FAXにて当連携室宛て**に送信いただきますようお願い申し上げます。

また、紹介患者さんには**紹介患者専用受付窓口⑨番**へのご案内を重ねてお願い申し上げます。

TEL 053-411-0366 FAX 053-411-0315 担当 佐村・吉田

浜松労災病院案内図



○遠鉄バスをご利用される場合

- 浜松駅バス乗り場10番より、
- ・蒲小沢渡線(系統番号 71,74,78) 労災病院下車
 - ・労災・篠ヶ瀬線(系統番号 85) 労災病院下車
 - ・笠井線(系統番号 70)子安下車、徒歩10分
 - ・磐田線(系統番号 80)子安下車、徒歩10分

●東名高速道路をご利用される場合

浜松 IC より20分

●タクシーをご利用される場合

JR 浜松駅より約15分

独立行政法人 労働者健康福祉機構
浜松労災病院 地域医療連携室

電話 053-411-0366
fax 053-411-0315

受付時間
月～金 8:15～18:00 土 8:15～12:00